

鶴の恩返し

鹿児島島の滝巡り

今回は鹿児島県そして旧薩摩藩の都城の滝巡りをしてきました。

まずは、都城の「関之尾の滝」日本の滝 100 選に選ばれている滝です。大滝、男滝、女滝とあり、大滝は高さ 18m、幅 40m で結構迫力があります。また滝の上流は火山の噴火によってつくられた甌穴（おうけつ）群がありこちらも見どころがありました。

次は最近「せごどん」のオープニングや映画「キングダム」で使われ、全国的に有名になった「雄川の滝」に行ってみました。駐車場から 1 km ちょつとのところであり 20 分ほど歩きます。しばらく歩いてからご対面できることが影響しているのか解りませんが、他の滝に比べて神秘的な感じがします。また水が凄く澄んでいて、そこがまた神秘的なのかもしれません。滝自体の豪快さはさほどありませんが、神秘性は 1 番でした。また上流にも展望所がありますが、こちらは行かない方が良いでしょう。工場みtainな建物があり下から見た神秘性が一挙に失われます。ちなみに高さは 46m、幅 60m だそうです。

「雄川の滝」の近くに、知らなかったのですが「神川大滝」というところもありました。高さ 25m、幅 30m だそうです。こちらは近づくと水しぶきが霧状になってかかり、体感的には雄川の滝より豪快です。

次に行ったのが、高速道路からも見え、加治木インターの近くにある「龍門の滝」。こちらも日本の滝 100 選に選ばれているようです。高さ 46m、幅 43m です。行った時は凄い数のトンボが飛び回っていました。こちらも雨が降った後などは、水量が多く豪快な滝です。

またこの近くには、「せごどん」でも使われた。龍門司坂があり、セットで行かれることをお勧めします。

最後に行ったのは「曾木の滝」、高さは 12m と大したことないのですが、幅は 210m で圧倒的迫力、「東洋のナイヤガラ」の異名がついているだけあって、水量もすごいし、様々な水の流れが面白いです。今回の滝の中で、一つだけ行くな「曾木の滝」をお勧めします。

でも迫力が凄く、大雨の後にはちょっと怖くて行けない感じですね。



お節の豆知識

毎年何気なくいただいている「おせち料理」ですが、食材ひとつひとつに意味があることをご存知でしょうか。ここでは「おせち料理」についてのいわれなどの豆知識をお伝えしたいと思います。

「おせち」は「御節句（おせちく）」の略で、1月7日、3月3日、5月5日、7月7日、9月9日の五節句などの節目に用いる料理や神にお供えする料理のすべてを指していたそうです。今ではお正月料理だけが「おせち」と呼ばれるようになりました。江戸時代の後半に、現在のような形になったようです。 それではそれぞれの食材にどのような意味が込められているかご紹介します。

- 黒豆・・・「一年中まめ（元気、勤勉）に働けますように」との意味を込めて
- 数の子・・・卵をたくさん持つことから、子孫繁栄を願って
- 田作り・・・昔はイワシが田んぼの肥料とされていたことから豊作祈願
- 伊達巻・・・「伊達」には華やかという意味があり、巻物には知識や文化の発展を願う意味がある
- 昆布巻・・・「よろこぶ」にかけて
- 紅白なます・・・お祝いの水引をかたどったもの
- 海老・・・腰が曲がった海老は長寿の象徴として。長寿祈願
- 里芋・・・恋もが沢山つくことから、子宝祈願
- 蓮根・・・穴があいたレンコンには、先を見通せるようにとの意味が
- くわい・・・大きな芽が出ることから、出世祈願
- ごぼう・・・地にしっかりと根を張ることを祈って
- だいだい・・・「代々」の語呂合わせで子孫繁栄を願って

弊社はお節の宅配が一般的になる以前より お節料理の配達サービスを行って参りました。本年度も4種類をお作りします。

ご家族一同がそろわれるめでたい日に、ぜひ鶴鳴館 鶴家のお節料理をつまみにして、ご家族の絆をより一層深めていただけたらと思います。



和三段 38,000 円(税込)



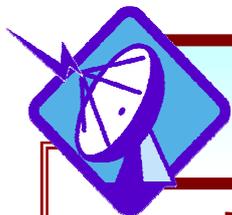
和洋中三段 3,400 円(税込)



和二段 28,000 円(税込)



和洋中二段 24,000 円(税込)



これが気になる

世の中の気になることを
ピックアップ

東京の地名には江戸時代の名残が多く残されていました。

■「大手町」の由来

「大手」とは城の正面、表門のことを表すことから、大手門は江戸城本丸への正門を意味します。江戸時代、「大手前」と呼ばれたこの地域には、幕府の要職にある大名や親藩の上屋敷が建ち並んでいました。1872年(明治5年)、「大手町」という町名が誕生しました。

■「銀座」の由来

1612年(慶長17年)、幕府が駿府(静岡県)の銀貨鑄造所(銀座)を、当時は「新両替町」であったこの地に移転したことで「銀座町」と呼ばれるようになりました。1800年(寛政12年)、銀座は日本橋の「蛸殻町」に移転されましたが、「銀座」の名前は地名として定着し、現在に至っています。

■「お台場」の由来

1853年、開国を求めてペリーが日本(浦賀)にやって来ました。江戸幕府が、再度の黒船来航に備えて、砲台場を築いたものが「台場」という地名の由来です。「砲台場」を略して「台場」となり、幕府が作ったものなので、民衆が幕府に敬意を払って「御台場」と呼んだとのこと。



コトのはじまり

ブルーシート

岡山県倉敷市に本社を置く萩原工業株式会社がブルーシートの国内トップメーカーです。

1965年(昭和40年)に「万能シート」として発売しましたが、当時のシートはオレンジ色のものが主流で「オレンジシート」とも呼ばれていました。

順調に販売が広がっていたのですが、当時のオレンジ色の顔料にはわずかですが黄鉛という鉛の化合物が含まれていたため、安全性を考慮して別の色にすることになりました。オレンジ色の代わりとして使われたのが青色の顔料でした。

この青色のシートは定着するまでに2、3年の時間がかかりましたが、全国に広まり、いつしか「ブルーシート」と呼ばれるようになりました。



創業明治30年 仕出し・宅配の鶴鳴館

鶴鳴館

鶴家

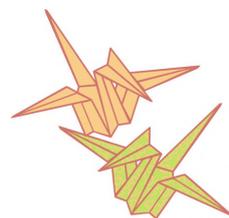
☎ 099-294-2500

〒891-1304
鹿児島市本名町 855-2

Mail : yuzo@kakumei.com

URL : <http://cataering-kakumei.com/>

受付時間 : 9:00~17:00
配達時間 : 10:00~18:00



編集担当 : 小山雄三・持留智子



七五三
山茶花

◆ 七五三・・・3,300円(税込)



◆ 山茶花・・・2,200円(税込)



◆ 山茶花・・・1,650円(税込)



◆ 山茶花・・・1,100円(税込)

創業明治30年

鶴鳴館

鶴家

鹿児島市本名町八五五―二

099(294)2500

鶴家 仕出し 検索



七五三とは、子供の成長の節目にあたり、感謝の気持ちを神様に告げ、健やかな成長をみんなで祝うものです。また、山茶花は11月12月に花を咲かせ、その花言葉は「困難に打ち克つ」「ひたむきさ」です。家族の想いを子どもに伝える。きれいな晴れ着を着て、家族みんなが祝ってくれる幼き日の体験は、喜びに包まれた緊張感とともに、いつまでも子どもたちの記憶に残ることでしょう。このような愛情豊かな日本の素敵な風習を私たちが鶴家は大切に伝えていきたいと考えます。

七五三・山茶花弁当のご案内